



2020年10月30日

各位

上場会社名 株式会社 京写
 代表者 代表取締役社長 児嶋 一登
 (コード番号 6837)
 問合せ先責任者 執行役員人事総務・経理財務担当
 平岡 俊也
 (TEL 075-631-3193)

過年度法人税等の計上、業績予想および配当予想に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期連結決算におきまして、過年度法人税等を計上することになりましたのでお知らせいたします。また、未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 過年度法人税等の内容

当社の連結子会社である Guangzhou Kyosha Circuit Technology Co., Ltd. (京写広州) において、当社および当社の連結子会社の Kyosha Hong Kong Co., Ltd. (京写香港) との取引に関する中国税務当局からの指摘に基づき、2007年度から2019年度までの13年間における移転価格税制に関する調査を行った結果、更正通知を受ける見込みとなりました。

当社といたしましては、これまで各国の税制に従い適正な納付を行ってきたと認識していることから、当局からの指摘事項につきましては見解が相違する部分があるとして専門家へ相談し協議を行ってきました。しかしながら、これまでの指摘や調査の過程を踏まえ、発生する可能性が高いと予想される追加納税見込額170百万円を、当第2四半期連結決算において過年度法人税等として計上することにいたしました。

2. 2021年3月期業績予想について

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	16,600	△270	△210	△560	△39.08
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	19,022	79	98	1	0.08

(2) 業績予想の内容

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、合理的な業績予想の算定を行うことが困難であることから未定としておりましたが、最近の国内外の市場動向など、現時点において入手可能な情報や予測等をもとに算定し、公表いたします。

国内外での経済活動の再開により、当第2四半期後半から改善の兆しが見えるものの、コロナウイルスの影響により先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、売上高については16,600百万円(前年同期比△12.7% 2,422百万円の減収)と大幅な減少を見込んでおります。利益面は経営体質強化のため、業務効率化や経費削減等に取り組んでいますが、ベトナム子会社の生産開始準備費用見込額が300百万円発生することから、営業損失は270百万円(前年同期比349

百万円の減益)、経常損失は210百万円(前年同期比308百万円の減益)と見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純損失は、過年度法人税等を計上したことにより、560百万円(前年同期比561百万円の減益)と見込んでおります。

3. 配当予想について

(1) 2021年3月期の配当予想

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	0.00	—	—	—
今回修正予想				0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	0.00	—	4.00	4.00

(2) 配当予想の内容

当社は、株主の皆様への利益還元の方針として、配当性向を25%以上としておりますが、2021年3月期の当期純利益予想が、前期を大きく下回る見込みであることを踏まえ、誠に遺憾ながら期末配当を無配とさせていただきます。

※業績予想および配当予想は、本資料の発表日現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって上記予想と異なる場合があります。

以上